

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL.113 (年4回発行)

- 発行日 令和6年9月30日
- 発行 三春まちづくり協会
- 編集 三春まちづくり協会広報部会
三春町大字貝山字泉沢100-1
TEL/FAX(62)3988



見事なケヤキ

愛宕神社の長い階段を上り、境内にある見事な神殿を参拝して散策の踏査を始めました。

新緑の中の散策路はとても清々しい思いです。主に



休みながら上った愛宕神社の階段

龍穏院愛宕
地域部会長 橋本 好美

愛宕神社の長い階段を上り、境内にある見事な神殿を参拝して散策の踏査を始めました。



龍穏院から見た三春花の丘公園

私の思いとしては、高台のコースでもあり、町内の街並や風景を楽しむ事ができるように竹林や森林を整備して見晴らしが良くなれば、更に楽しめるのではないかと感じました。



散策路の途中には2ヶ所ベンチもあり、無理なくゆっくりと散策できると思いました。

ただ、日当たりの良い部分は、やはり草が生い茂つており、この季節を目の当たりにしたようです。

三春町内にはまだまだ散策コースがあるのだと思い、こんなに楽しめるところがあることを知らされました。

三春町内にはまだまだ散策コースがあるのだと思い、こんなに楽しめることがあることを知らされました。

田村西部環境センター！
三春水環境センター
を視察して

田村西部環境センター
環境部会長 渡邊 州広



参加した皆さん

散策路は、参加した皆さんと会話を楽しみながらゆっくり歩いて時間的には1時間30分位です。時間的にも適当でとても良いコースではないかなと思いました。

田村西部環境センター（大字富沢）及び、三春水環境センター（字大久保）を視察して、ゴミや下水などのように処理されているか研修しました。

三春町では、ゴミを17種類に分別し処分していますが、そのうち、田村西部環境センターのゴミ焼却設備で可燃ゴミを焼却し、焼却灰が残るようになっています。

田村西部環境センターにて担当者から説明を受ける様子

田村西部環境センターは、町民一人一日当たり990gで、生ゴミなどの水分量が40%程度占めているそうです。

また、不燃ゴミ、粗大ゴミ、有害ゴミ等は清掃センター（沼之倉）で手選別をしています。

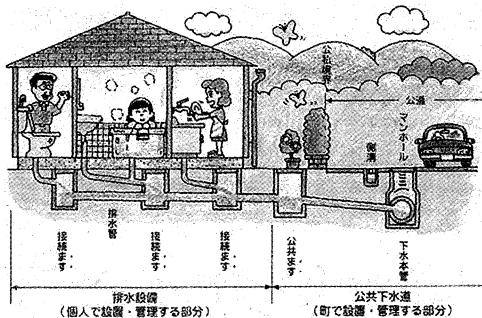
現在の焼却設備の処理能力は、年間10,000tであり、三春町4,000t、田村市6,000tが搬入されていますが、令和8年以降は田村市からの搬入が

田村西部環境センターにて担当者から説明を受ける様子

田村西部環境センターでは、公共下水（家庭からの生活排水）とし尿等（浄化槽汚泥とし尿を合わせたもの）の処理をしています。

施設内は清潔で悪臭が漂うようなこともありませんでした。

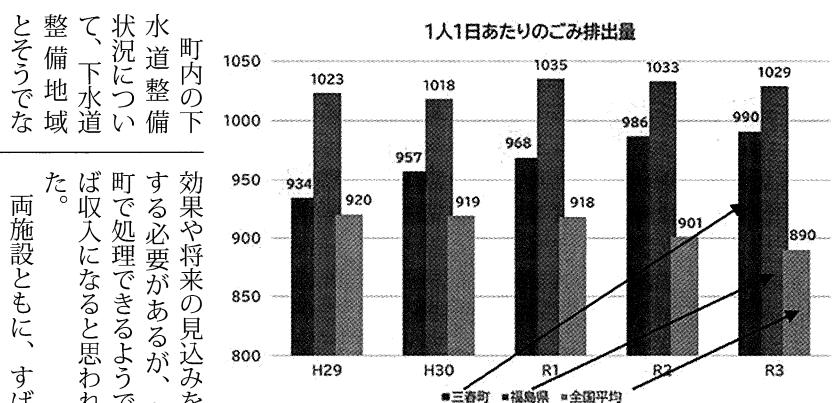
排水設備の設置例



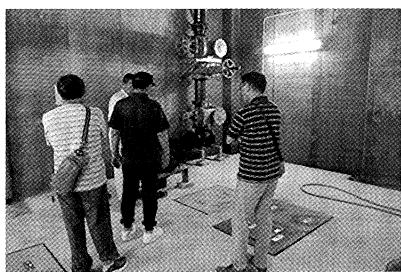
い地域があることは、過去に下水道の必要性の地元アンケートを行い、不要と回答した地域は整備していくことで現在に至っているとのことでした。

施設規模は将来を見越したものであり、4分の1程度しか活用されず処理能力には余力があるようです。脱水後の汚泥は、週15トント程度排出され、廃棄物として業者に引き取つてもらつております。引取り業者は何らかの処理をして販売していました。費用対

収集地区	可燃ゴミ (kg)	不燃ゴミ (kg)	プラごみ (kg)	資源ゴミ (kg)	合計 (kg)	およそ の人口 (人)	1人当たりの年間 排出量 (kg)	1日1人 当たりの 排出量 (g)
旧町	1,211,380	29,390	61,200	437,990	1,739,960	6,480	268.51	736
沢石・ 要田・ 御木沢	261,430	11,020	13,660	130,530	416,640	2,756	151.18	414
中妻・ 中郷	344,850	11,660	18,280	147,060	521,850	2,428	214.93	589
岩江	708,230	18,200	43,990	221,270	991,690	4,559	217.52	596
合 計	2,525,890	70,270	137,130	936,850	3,670,140	22,703	161.66	443



この排出量は、清掃センターに直接持ち込んだ家庭ゴミなどを含んだもので、令和3年度の集計です。



担当者からの説明を受ける様子

とそうでない地域について、下水道整備状況について、下水道整備地域の地元アンケートを行い、不要と回答した地域は整備していくことになりました。

両施設ともに、すばらしい設備となつているが、運用面で十分な機能を使っていない現状があると感じられました。

効果や将来の見込みを考慮する必要があるが、もし町で処理できるようであれば収入になると思われました。

○高齢者の予防救急の重要性

予防救急とは、救急要請につながりかねないケガや病気の事故事例を分析し、それに対する予防法を住民に提供し、注意喚起し、救急事故の未然防止を図ることです。「ほんの少しの注意」や「事前の対策」といつ

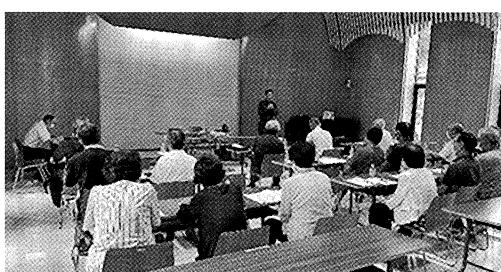
一般救急法講習会

福祉部会長
村上 伸治

また、有効活用できぬ设备や設備投資があれば廃止や撤去などにもなりかねない課題があるものの、現施設の最大限有効利用を踏まえ、今後の施設の在り方について検討が必要であるようです。



横から見た反応槽



講習会の様子

高齢者に対する出動では、屋内発生が約90%占め、そのうち身近な住宅で約60%発生しているとのことであり、救急搬送者の約半数が入院に至っていることがあります。

救急出動件数は年々増加傾向にあり、郡山消防本部においては、令和5年度は一日平均52・7件で27・3分に1件の割合で出動し、現場到着まで12・2分を要しています。また、救急出動の約60%が軽傷であり、また、高齢者が約60%を占めているそうです。また、救急搬送者の約60%が軽傷であり、また、高齢者が約60%を占めているそうです。

一級建築士事務所

結建築研究室

佐久間 保一

福島県田村郡三春町八島台 7-5-13 TEL (0247) 62-1775

うやまう心に、真心でご奉仕する

菊川屋

☎963-7765 福島県田村郡三春町荒町30
〈0247〉62-3600
FAX 〈0247〉62-1300

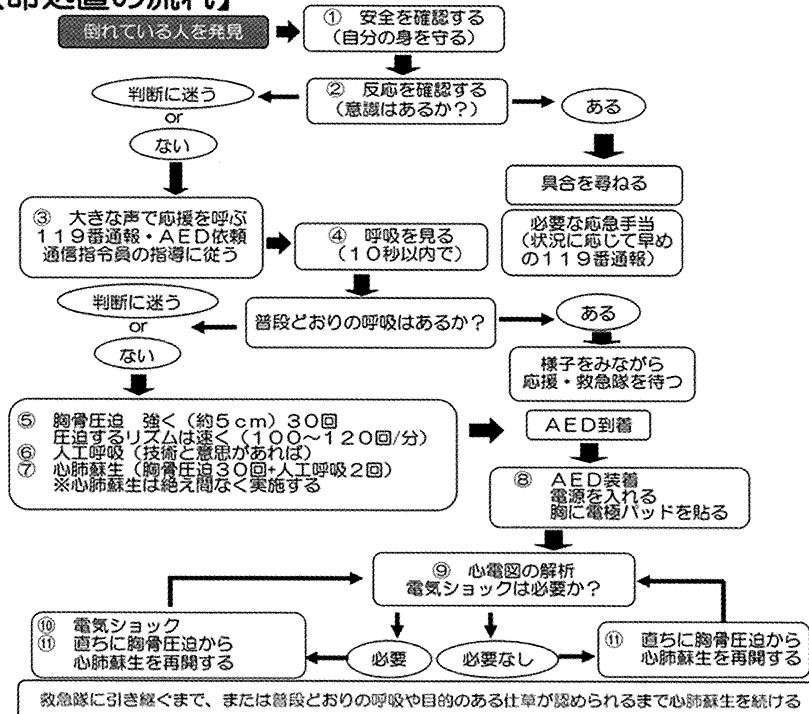
AEDパッドを貼る位置や胸部圧迫は手のどの部分を使うかなどの実演



高齢者の救急搬送の具体例では、①居室において、75歳の男性が段差につまずき転倒し手首を骨折。②浴室において、76歳男性が飲食直後に入浴し心肺停止。82歳女性が浴室に入りヒートショックで意識消失。溺れていた。82歳女性が浴室に入りヒートショックで意識消失。溺れていた。82歳女性が浴室に入りヒートショックで意識消失。溺れていた。

※ AED装着後は、AEDから自動音声で指示（音声ガイド）が流れる。AED装着後は、AEDから自動音声で指示（音声ガイド）が流れる。AED装着後は、AEDから自動音声で指示（音声ガイド）が流れる。AED装着後は、AEDから自動音声で指示（音声ガイド）が流れる。

【救命処置の流れ】



心肺停止。などです。対策（予防救急）としては、住宅内の危険個所をチェックし段差に目印を付けたり、段差を埋めたりする方法。室内の温度差を無くす対策を講じるなどが必要とのことでありました。また、食事はゆっくりと良く噛んで食べ、入浴する際は食後10～15分経過してから入浴するように話されていました。

ショックをすることがあります。※電気ショックをするとき以外は、救急車が到着するまで、胸部圧迫・心肺蘇生を続ける。（心肺蘇生とは、呼吸や心臓が停止している傷病者に対して、胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸、AEDの組み合わせで呼吸機能や血液循環を維持させる手段のこと。救急車が到着するまでに行われる一次救命処置の一つです。）

※心肺蘇生を中止するのは、普段通りの呼吸や目的がある仕草が認められた時。※ケガ人などに出血がある場合は、血液に触らないこと。

○救命処置の流れ

- ・ 救急処置は、①周囲の安全確認
- ・ 救急処置は、②倒れていた人の意識の確認
- ・ 大声で応援を呼ぶ
- ・ 認証→③大声で応援を呼ぶ
- ・ 認証→④呼吸を見る→⑤胸部圧迫→⑥人工呼吸→⑦心肺蘇生→⑧AED装着→⑨AEDが心電図を解析→⑩電気ショック→⑪胸部圧迫から心肺蘇生の再開→⑫救急車到着

◇◇調べてみたら②◇◇

救命目的でAEDを使用した場合には、悪意や重大な過失がない限り、民法698条「緊急事務管理」が成立し、訴えられるような可能性は考えにくいのが現状です。今回の講習を受講して、安易に救急車の出動要請することが無いよう、予防急救を心がけて、健康で明るい生活を送りたいと感じました。



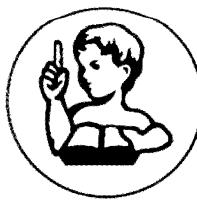
田村高校教科書取扱店
本.CD.DVD.TVゲーム

カネサン書店

田村郡三春町大字貝山字岩田53

TEL62-2046
FAX61-1072

<http://www.e-hon.ne.jp/SHOP24278>



BOOK, CD&STATIONERY
KANESAN

認知症の方 寝たきりの方
退院支援に力を入れています！



田村高校生の「総合的な探究の時間(夢ゼミ)」の紹介

第5回

田村高校では、総合的な探究の時間(夢ゼミ)において、三春町の歴史、風景、町の課題、イベントなどを高校生の目線で探究し校内発表を行っています。そこで、三春まちづくり協会では、ご担当される先生方の協力を得ながら発表内容の一部を紹介いたします。

<第5回>

『夜間時の三春町の避難場所について』

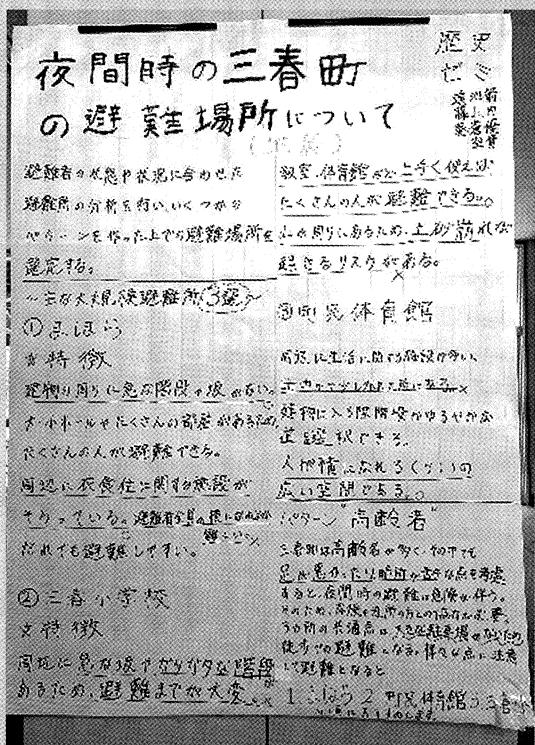
私たちは総合的な探究の時間で様々な視点から社会課題を見つけ、探究し、発表する学習を行っています。そこで私たちは、三春町で夜間に地震などの災害が発生した場合の避難について調べました。

今回特に夜間に着目した理由は、災害を想定した訓練は主に昼間の明るい時間帯にしか実施していないからです。明るい時間帯と夜間では状況も大きく異なります。夜間は昼間と違って暗く、視界も狭くなります。さらに、地震で停電したり道路に亀裂が走ることも予想されます。

そこで私たちは、『各家庭でも夜間避難訓練を実施し、実際に地域の避難所まで行ってみる。』ということを提案したいと思います。

皆さんには、住んでいる地域の避難所の確認はしていますか？三春町内には24か所の広域避難所があります。今回は町内の『三春交流館「まほら』』『三春小学校』『三春町民体育館』の3か所の広域避難所を比較してみました。

まず『三春交流館「まほら』』は、大小ホールや学習室などがあり、多くの方々が避難できます。町の中心部にあり周囲にはお店があり便利ですが、駐車場は広くはないので、徒歩での避難が想定されます。段差が少ないので、車いすでの避難はスムーズに行えると思います。



夜間避難ポスター

次に『三春小学校』です。教室や体育館もあり多くの方が避難できると思いますが、徒歩で避難することが想定されます。ただ、高台にあるため明徳堂正門の階段や急な坂道を上らないので、高齢の方にとっては辛い避難経路になると思います。

最後に『三春町民体育館』です。こちらは体育施設なので、大勢の方が避難できます。

この3か所は旧町内の方々の避難所となっています。いざ避難をする時に困らないように、避難所の設備や立地などをしっかりと確認しておくことはとても重要です。

災害はいつ起こるかわかりません。家庭内で防災グッズの内容確認や置き場所の再確認、避難場所や連絡手段をしっかりと確認してほしいと思います。常日頃の心掛けが自分や家族の命を守ることになります。自然災害の多い国であるからこそ、もしもの時に備えておかなければならぬと思います。(三春町の防災関連のホームページなどの確認をお願いします。)



課題研究発表会の様子

田村高校3年 遠藤 葵／箭内優貴／池上蒼空

編集発行日	令和6年9月30日
三春わが街	第一二三号
コミュニティだより	
広報部	
三春町立青年会	(六二二)三九八八

に相応しい大変美しい作品です。役場二階の桜ホールに展示されています。皆様ぜひご覧ください。

(本田圭子)

▽ 昨年田村高校の生徒さんたちが算額を復元してきました。さいました。さいました。ひときを過ごすことがありります。遊び、楽しもう！三春まちなか寺子屋では龍穏院、田村大元神社、厳島神社を巡り、現存する算額を見ながら問題にチャレンジしました。難問ばかりでしたのが、町内外の多くに知られていますが、三春町にもたくさんの方々が、三洋の数学に引きを取らない算額として神社やお寺に奉納しました。福島県には全国で最も多くの算額が残されています。あまり知られていませんが、三江戸時代の日本では、和算という独自の数学が発展していました。それは西洋の数学に引けを取らない高度なものでした。難問を解いた人々は神仏に感謝し、さらに勉学に励むことを祈り、自分で作った問題を額に記し、算額として神社や寺院に奉納しました。

編集後記